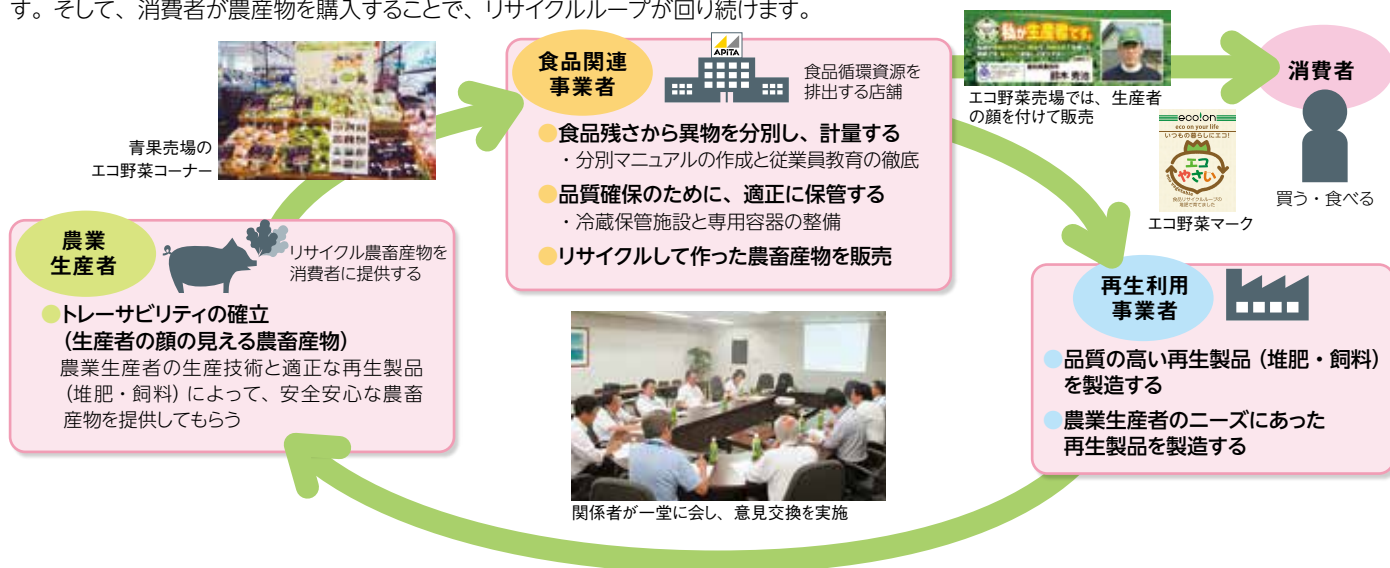


食品リサイクルループの構築

リサイクルループを構成するパートナーシップ

ユニー、再生利用事業者、生産者がそれぞれの役割を果たすことによって、リサイクルの環が完成します。食品を無駄にせず、ゴミも減らすことができる地球にやさしいライフスタイルです。リサイクルの環で作った野菜や肉、卵は安全安心でおいしく、作った人の顔の見える農産物です。そして、消費者が農産物を購入することで、リサイクルループが回り続けます。



リサイクルループを有効に運用するために

店舗の所在地で食品リサイクルループを構築し、地域の再生利用事業者や農業生産者とパートナーシップを図っていくことがユニーの方針です。環境担当者は、優良な堆肥や飼料を製造する再生利用事業者と組み、また、生産された農畜産物を仕入れ販売することは、商品部や店舗担当者の仕事です。リサイクルループを円滑に推進するために、定期的に情報を交換し課題を解決しています。

環境担当者の役割

食品残さをリサイクルするためにパートナーを探す

リサイクルループで生産した農作物を販売することを目的としてパートナーを探す

再生利用事業者の製造する堆肥・飼料の品質確認。

再生製品(堆肥や飼料)を利用する農業者を探す

地産地消を前提に生産技術の高い農業者と組む。

仕入れ担当者・販売担当者の役割

リサイクル農作物を販売

生産された農作物を販売するために、社内で検討する

農畜産物の生産履歴・品質が社内基準を満たす。

農業生産者と食品関連事業者がパートナーシップを築く

販売計画を基に生産計画を立て購入契約を結ぶ。

売場ではリサイクル作物の特徴を消費者へ充分にアピールする

売場に、「安全・安心な農作物」であることを明示。

農産物の取り扱い拡大の試み

愛知県では2005年からJAグループと連携し食品リサイクルを推進しています。刈谷市のヒラテ産業とJAあいち経済連と行った堆肥化の取り組みでは、長らくユニーの店舗で、リサイクル堆肥で育ったエコ野菜やお米を販売してきました。2014年には、グループのコンビニエンスストア・サークルKサンクスが販売に加わり新米の時期に合わせ、リサイクル堆肥で育ったお米を弁当やおにぎりにして限定発売しました。ユニーの店舗では引き続き精米として販売する一方2015年もサークルKサンクスで米飯類の販売を予定しています。今後もグループの店舗の特性に合わせた商品の開発を進めていきます。

また、愛知県の名古屋・尾張地域の限定店舗では、青果売り場にエコ野菜の特設コーナーを設置しています。これまでは野菜そのものを素材として販売してきましたが、昨今の簡便商材の需要の増加に応え、2015年4月よりカット野菜の販売を開始しました。愛知県産のエコ野菜のみでつくられたエコサラダは、未利用食品の排出、堆肥化、野菜作り、加工までを全て愛知県内で行った「地産地消」の商品です。これからも安全安心にこだわった高付加価値商品を提供していきます。



食品リサイクルループで栽培したお米を使ったおにぎりや弁当



エコサラダ



エコ野菜サラダ生産者の声